

人権意識を高め、子どもの自尊感情を育もう！

M:見つめる・o:思いをめぐらす・m:向き合う

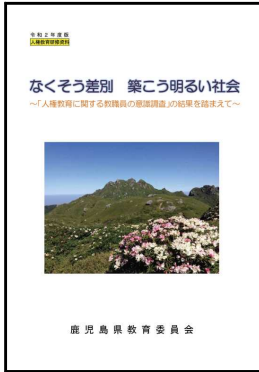


人権同和教育課

令和2年度版 人権教育研修資料

「なくそう差別 築こう明るい社会」

～「人権教育に関する教職員の意識調査」の結果を踏まえて～



■ 内容

- I 意識調査から見えてきた全体的な特徴
 - II 今後の研修の方向性について
- 意識調査から明らかになった教職員の人権意識に対する全体的な特徴を踏まえて、学校における人権教育

の充実・啓発を図るために作成しました。



意識調査から見えてきた3つの特徴

- ① 教育者の使命感をもって、人権教育に取り組んでいる
- ② 若い年代は「人権課題に関する知識を深めたい」、高い年代は「人権感覚を磨きたい」と思っている
- ③ 人権に係る指導法や実践知識等の習得を研修会に期待している

人権教育の更なる充実を図るための4つの視点

- 1 人権教育の目標・理念及び人権教育を通じて育てたい資質・能力を理解する場を設定すること
- 2 日常的に人権に係る内容を話題にし、人権に関する動きや法律等を理解する場を設定すること
- 3 学校経営の根幹に人権尊重の精神を据える意義について、教職員で共通理解を図る場を設定すること
- 4 経験年数や職種に応じた研修内容を工夫し、互いに議論する場を設定すること



意識調査の結果は、県のWebサイトからも閲覧可能です！

人権教育に係る校内研修を進めるための具体的な取組方法を掲載しています！

令和2年度版 人権教育指導資料

「仲間づくり」

～自尊感情を育むために～



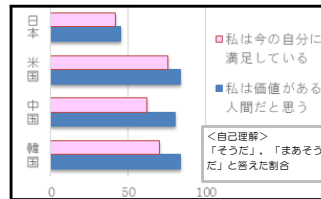
■ 内容

- 1 おさえとおきたいこれだけは！
- 2 自尊感情の育成が求められる社会の現状
- 3 自尊感情を育むために
- 4 自尊感情を育む活動例
- 5 自尊感情が高まった子どもの姿

「自尊感情の育成」に関する研修の充実を図り、人権尊重の視点に立った学校づくりを推進するために作成しました。



自尊感情に注目しよう！



国立青少年教育振興機構の平成30年度国際比較調査

日本の高校生の「自尊感情」は、諸外国と比べて低い

予測が難しいこれからの社会、複合化する問題に対応するためには、子どもの自尊感情の育成が必要です！



「社会的自尊感情」は、うまくいったりほめられたりすると膨らみますが、失敗したり叱られたりすると途端にしぼんでしまう、状況や状態に支配される感情です。

一方、「基本的自尊感情」は、あるがままの自分を受け入れ、自分を大切な存在として尊重する感情です。社会的自尊感情を支える役割を果たし、人生における挫折や困難を乗り越える原動力になります。

信頼する人と「体験と感情の共有」を繰り返すことで、この基本的自尊感情が育まれていきます。



自尊感情のメカニズムや自尊感情を育む活動例・ワークシートも掲載しています！